

第2学年 保健体育科学習指導案 (富島高等学校)

平成26年10月24日 金曜日 3校時
 第2学年商業科1組(男子8名、女子31名)
 場所 大会議室
 指導者 日野 譲士 T1
 高林 真裕 T2

1 単元名 「生涯を通じる健康 生涯の各段階における健康」(3時間)

2 単元の目標 (第2学年)

- (1) 生涯の各段階における健康に関する資料を探したり、見たり、読んだり、課題の解決に向けての話し合いや意見交換をしたりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。(関心・意欲・態度)
- (2) 生涯の各段階における健康に関する資料等で調べたことを基に課題を整理したり、学習したことを、個人及び社会生活や事例と比較したり、分析したりするなどし、筋道を立ててそれらを説明することができるようにする。(思考・判断)
- (3) 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていることを、心身の発達や健康状態などの保健の立場から理解できるようにする。(知識・理解)

3 単元の評価規準 (第2学年)

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
・生涯の各段階における健康に関する資料を探したり、見たり、読んだり、課題の解決に向けての話し合いや意見交換をしたりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・生涯の各段階における健康に関する資料等で調べたことを基に課題を整理したり、学習したことを、個人及び社会生活や事例と比較したり、分析したりするなどし、筋道を立ててそれらを説明している。	・生涯の各段階における健康課題について、心身の発達や健康状態などの保健の立場から、理解したことを言ったり書き出したりしている。

4 学習活動に即した評価規準 (第2学年)

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
①生涯の各段階における健康について、グループでの話し合いなどで意見を交換したり、自分の考えを発表したりする活動を通して、学習に主体的に取り組もうとしている。	①生涯の各段階における健康について、提示された情報を分類したり整理したりして、その理由を説明している。	①思春期と健康について、ワークシートに書き出したりしている。 ②結婚生活と健康について、ワークシートに書き出したりしている。 ③加齢と健康について、ワークシートに書き出したりしている。

5 指導観

(1) 教材観

平成20年の中央教育審議会答申において、新学習指導要領の改善の基本方針として、保健については、「小・中・高等学校を通じて系統性のある指導ができるように、子どもたちの発達の段階を踏まえて保健の内容の体系化を図る。」とある。小学校段階では、体育において、「異性への関心」を、中学校段階では、保健において「異性への尊重」を内容として取り扱っている。高等学校段階では、大単元「生涯を通じる健康」の中単元「生涯の各段階における健康」のなかの本単元である「結婚生活と健康」において学習内容の体系化を具体的に図っていく。

「結婚生活」とは、生育環境や生活様式の違った男女が共同生活を行うことであり、お互いの考えや意見を尊重し、受け入れることで、結婚生活の意義や大切なことは何かを学んでいく。また、お互いの健康状態を把握し維持管理することは、幸せな結婚生活の基盤となることも理解させていきたい。さらに、パートナーを傷つけてしまう行為(DV)についても、それが起きる原因とその対処方法や支援の仕方などを生徒1人1人が考え、解決に向けて話し合わせるができる。

(2) 生徒観

本学級の生徒の実態として、本教材の導入に行った「保健アンケート」では、保健学習が「好き」「どちらかというが好き」と回答した生徒が7割を超え、また、「保健の内容は将来の生活に役に立つと思いますか」の回答に8割の生徒が、「役に立つ」、「どちらかという役に立つ」と回答した。以上のように、生徒の大半が「保健」の授業に対して興味・関心が高く、将来のために必要な教科だと認識している。授業においては、理解度は高いものの女子生徒の割合が多く、積極的に意見を発表したり、話し合いなどのグループ演習を行う雰囲気が定着していない。また、「結婚」については、7割の生徒が「幸せ」や「楽しそう」などの良いイメージを持っており、9割の生徒が20代での結婚を望んでいる。このような実態の生徒に対して、「結婚生活」を送るうえで生じてくる妊娠・出産や家族の健康への責任、また、近年増加しているDVなどの現状を理解してもらい、将来の結婚への足がかりとしてもらいたい。

(3) 学習を進めるに当たって

保健学習に興味・関心が高い生徒が多いが、発表や話し合いの場面（言語活動の充実）が少ない現状を踏まえて、より意見が出やすい雰囲気作りとして、養護助教諭とのTTで授業を進め、活発な意見を引き出していきたい。

また、県北支部における研究の一環として、「ワークシートの充実」をテーマに行っている。各学校の研究から、より授業内容に沿ったワークシートを生徒に提供し、充実した授業作りを行っていきたい。

6 指導と評価の計画

時間	ねらい・学習活動	評価規準			評価方法
		関心意欲 態度	思考 判断	知識 理解	
1 思春期と健康	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(ねらい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期における心身の発達や健康課題について特に性的成熟に伴い、心理面、行動面が変化することについて理解できるようにする。また、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を尊重する態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。 </div> <p>(学習活動)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高校生期の心身の性的成熟に伴う身体の変化について図や表を用いて理解する。 2 自分の行動への責任感や異性を尊重する態度について、事例を用いてディスカッションし理解を深める。 3 思春期における、心理面、行動面の変化について表やグラフを用いて理解する。 4 性に関する情報等への適切な対処について、事例を用いてディスカッションし理解を深める。 			①	学習ノート 観察
2 結婚 健康 生活と健康	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(ねらい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康な結婚生活について、心身の発達や健康状態など保健の立場から理解できるようにする。また、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康への責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子への健康診査の利用などの保健・医療サービスの活用が必要なことを理解できるようにする。 </div> <p>(学習活動)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、図や表、アンケート結果などから理解できるようにする。 2 家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、事例を用いてディスカッションし理解を深める。 3 結婚生活を健康に過ごすために、自他の健康への責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子への健康診査の利用などの保健・医療サービスの活用が必要なことを、図や表を用いて理解できるようにする。 	①		②	学習ノート 観察

	4 健康な結婚生活について、ブレインストーミングや、ロールプレイングを用いて理解を深める。また、養護教諭と連携し更に理解を深める。				
3 加齢と健康	<p>(ねらい)</p> <p>・加齢に伴う心身の変化について、形態面及び機能面から理解できるようにする。また、生きがいをもつこと、家族や親しい友人との良好な関係を保つこと、地域との交流をもつことなどが重要であることを理解できるようにする。さらに、中高年の健康状態、生活状況やこれらに対する種々の施策が行われていることを取り上げるとともに、高齢社会の到来に対応して、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることを理解できるようにする。</p> <p>(学習活動)</p> <p>1 加齢に伴う心身の変化について、図や表を用いて理解できるようにする。</p> <p>2 中高年期を健やかに過ごすためには、若い時から、適正な体重や血圧などに関心を持ち、適切な健康習慣を保つこと、定期的に健康診断を受けることなど自己管理をすることが重要であることを、事例を用いたディスカッションを行い理解を深めることができるようにする。</p> <p>3 生きがいをもつこと、家族や親しい友人との良好な関係を保つこと、地域との交流をもつことなどが重要であることを事例を用いて、理解できるようにする。</p> <p>4 中高年の健康状態、生活状況やこれらに対する種々の施策が行われていることを取り上げ、高齢社会の到来に対応して、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることを、課題学習を用いて理解できるようにする。</p>		①	③	学習ノート 観察

7 本時の展開（2時間目／3時間 生涯の各段階における健康「結婚生活と健康」）

(1) 本時の目標

- ・結婚生活と健康について、アンケート結果や提示された情報を分類したり整理したりして、その理由を説明している。(態度①)
- ・結婚生活と健康について、ワークシート書き出ししたりすることができるようにする。(知識①)

分	学習内容・学習活動	指導上の留意点 (◇：指導 評価：○)
0	<p>1 生徒の発表やワークシートで、前時に学習した内容について確認をする。</p> <p>2 教師の説明により本時の学習内容について確認をする。 本時の目標については、黒板に提示する。</p>	<p>・本時の学習内容と課題を確認させ、学習意欲をもたせる。</p> <p>・グループ活動が活発に行われるように机間巡視や声掛けを行う。</p>
5	<p><学習内容1> 結婚生活に必要な条件</p> <p>発問1 なぜ日本では、結婚できる年齢が男性18歳で女性が16歳なんだろうか？ (T1)</p>	
	<p>3 自分の知識、身の周りの人を基にしながらワークシートに書き出す。</p> <p>4 クラスでの事前アンケートで結婚したい年齢や結婚相手に求める条件は何が多かったかを話し合わせる。</p>	<p>・健康な結婚生活のためには、年齢以外にさまざまな条件がクリアされなければならない。</p> <p>・クラスメイト全体が結婚に対して、どのような考えを持っているか知る。</p>

15	5 ワークシートに書き出した内容について、友達の発表や教師 (T1) の説明を聞きながら確かめる。	・自分の考えと比較したり、関係を見付けたりして確かめるよう助言する。(T2)
	<学習内容 2> 性機能の成熟と出産適齢期	
	発問 2 妊娠・出産を考えたとき、それに適した年齢というのはあるだろうか？ (T1)	
	6 ワークシートを完成させる。	・教科書の図を参考に、出産適齢期があるということと、女性の社会進出による変化に気付かせる。
	7 ワークシートに書き出した内容について、友達の発表や教師の説明を聞きながら確かめる。	・自分の考えと比較したり、関係を見付けたりして確かめるよう助言する。 ・机間巡視しながら指導助言をする (T2)
25	<学習内容 3> 良好な結婚生活を送るために	
	発問 3 良好な結婚生活を送るためには、パートナーに対してどんなことに配慮したらよいだろうか？ (T2)	
	8 自分の考えをワークシートに書き出す。	・健康状態の把握、お互いの個性を認め合い、受け入れる事の大切さを押さえながら書かせる。 ・机間巡視しながら指導助言をする (T1)
	9 良いコミュニケーションをとることの必要性について、教師 (T2) から説明を聞き、良好な結婚生活を送るためには、お互いの気持ちを理解し合うことが大切な事を理解する。その際、DV についても説明する。	・DVD を見せた後に、養護教諭の立場からみた、高校生年代の現状についても説明を聞き、理解させる。 ・DV には専門的な支援機関の存在があることを知り、積極的に話し合わせる。
35	<学習内容 4> 家族の健康への責任	
	発問 4 結婚すると、家族の影響で自分の健康に問題が生じることがある。たとえば、それはどんなことだろうか？ (T2)	
	10 「健康な結婚生活」について、教師 (T2) の説明を聞き、結婚後におこる健康障害についてワークシートに書き出す。	・資料「ライフサイクルにおける健康障害の現れ」を参考にしながら、結婚後におこる健康障害について理解できるようにする。
50	11 本時の振り返りをワークシートにまとめるとともに、学習内容を理解する。(T1)	・ワークシートに記入することにより本時の学習を振り返るように促す。